

「文化・スポーツ基本構想（案）」の意見募集結果について

「文化・スポーツ基本構想（案）」に関する意見募集手続きは、令和7年8月15日から9月13日までの期間で行いました。その際、10名より計30件のご意見をいただきました。お寄せいただいたご意見及び区の考え方は、以下の通りです。

1 意見募集手続の概要

（1）意見募集期間

令和7年8月15日から9月13日までの間

（2）周知方法

ア 区公式ホームページに掲載

イ 令和7年8月15日号の「広報えどがわ」に掲載

※文化教育部文化課窓口に閲覧用の印刷物を設置

（3）意見の提出方法

ア 区公式ホームページ

イ 持込み又は郵送

（4）提出先

文化共育部文化課文化振興係

2 意見募集の結果

	ご意見	区の考え方
1	素晴らしいと思います。	ご意見ありがとうございます。
2	江戸川区は南北の移動における公共交通機関の使い勝手が悪いため、荒天時の移動を考慮していただければと思います。 また、江戸川河川敷のグラウンドや、篠崎公園エリアへの移動も、私が住んでいる葛西エリアからは直通しているバスがなく、途中で乗り換える必要があります。 スポーツ活動へ参加する目的で、特定	ご意見ありがとうございます。 ご意見として承ります。

	区間で都営バスと京成バスを乗り継いだときに、料金がいくらか割り引きされるサービスがあれば、バスの利用が促進されるのではないかと思います。	
3	<p>プロスポーツを江戸川区内に誘致する場合、専用の競技場があればよりよいかなと思います。プロサッカーチームを擁する山形県や富山県も、まちづくりのコアと位置付け、球技専用設備の整備に前向きです。</p> <p>江戸川区ではJリーグを目指しTOKYO23FCが活動していますが、チームの活動を支援するためにも、将来的な球技専用施設の整備をご検討いただければと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>区民の皆さまのニーズを踏まえつつ、既存施設の有効活用を考慮しながら、今後の整備方針を検討してまいります。</p>
4	<p>区民であり、江戸川スポーツランドのフィギュアスケートクラブに所属しております。現在大学生で部活動でフィギュアを始めて、今後も趣味として続ける予定です。リンク通年化を希望致します。</p> <p>理由と致しましては、</p> <p>①夏季もスケートリンクとして営業する事で唯一無二の施設として区外からの利用者を集められる事</p> <p>②江戸川スポーツランドを拠点とする選手/インストラクターの練習環境が改善し、江戸川ゆかりの選手の活躍が見込まれること</p> <p>です。</p> <p>①東京近郊にリンクは数カ所あります が、公営リンクは江戸川スポーツランドのみです。(9月に開業する辰巳も公営) そのため他のリンクに比べ滑走料が廉価で営業時間も長い事から学生のスケーター、趣味スケーター、観光客からは大変 ありがたく訪れやすいリンクです。江戸川区近隣からだけでなく、私が知る範囲</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>運営コストなど経済的負担などの課題を踏まえつつ、区のさらなる魅力向上やにぎわいの創出に向け、今後の利用拡大の可能性について検討してまいります。</p>

	<p>でも多くの人が、23 区西部などからも江戸川区へと来ます。</p> <p>しかし夏季にはプールになるためのため、プールなどの市区町村にも一定数存在していることから、わざわざ江戸川区に足を伸ばす事は無くなります。</p> <p>通年リンクとすることで、コンスタントに区外からの人の来訪とその経済効果が期待できます。</p> <p>②夏季、江戸川 FSC は千葉の三井不動産アイスパーク船橋/アクアリンクちばへ拠点を移します。既存のクラブの使わない時間を間借りしての貸切練習、レンタルになるため、始発も無いような早朝練習や小さいリンクでの練習ばかりになりますし、費用もかさみます。</p> <p>趣味スケーターとしては困ることはないものの、選手を目指すクラブメイトやその保護者、インストラクターにとっては環境が良いとは言えないように感じております。</p> <p>そのような事情があるために、他のクラブよりも有力選手が集めづらいようにも思えます。</p> <p>通年化によって選手が練習しやすくなり、成績が向上したり、実力のあるスケート選手が江戸川から誕生したりする事を、一愛好家として望んでおります。</p>	
5	<p>パブコメの実施方法について。まずパブコメの場所が分かりにくい。なぜ HP の下の方にしかリンクが無いのか？トップページの一番上の目立つ場所にリンクを張り、意見の募集期間中はずつとトピックスに表示し続けるべき。本当は区民の意見など集めたくない、区民の声を心から聞こうとしている区政の姿勢が端的に表れている。「区へのご意見・お問い合わせ</p>	<p>現在の構成やレイアウトは、前回の区ホームページリニューアルのタイミングで検討したものとなります。</p> <p>HP のデザイン等、リニューアルは 5 年に 1 度のペースで実施しており、現在のレイアウトは 2023 年 2 月のリニューアル時に、ヒートマップや HP 利用者の動きをデータ化し、民間企業や専門家に分析・意見をいただいたうえで、コンテンツの全体</p>

	<p>「わせ」のページも分かりにくい。常設の問合せの下に「意見募集（パブリック・コメント）」へのリンクがあるが、常設のものより期間限定のものを上に持ってくるとか、「パブコメ募集中/パブコメはこちら」等の分かりやすい文言にするとか、トップページから直接パブコメのページにリンクさせる等の工夫が必要。この程度のHPレイアウトの改善は即座に実行できることなので、即刻対応すべき。</p>	<p>バランスを見て決定いたしました。当HPは、今年の全国広報コンクールにおいて入選するなど、一定の評価をいただいていると認識しております。いただいたご意見は、次回のリニューアルの中で検討してまいります。</p>
6	<p>また入力フォームからの提出において、氏名・かな・住所・電話番号等の個人情報の入力を必須にしているが、これはやめるべき。事実として、政府が実施しているパブリック・コメントにおいてはこれらは必須項目ではない。個人情報の入力を必須にすることで、意見の提出をためらう人も少なからずいると思われ、集まる意見の数に悪影響が出る。もちろんそれを狙ってのことであろうが、パブコメの実施においては当然ながら意見の量だけではなく意見の質も問われることになり、逆説的ではあるが質の高い意見を集めるために幅広く多様な人の意見を集めることが重要である。多様な意見を集めることでパブコメ全体の質が向上すること、そして意見の質は区に在住、在勤、在学しているか等とはまったく無関係であることから「意見を提出できる方については、江戸川区の在住、在勤、在学の方、それ以外の場合は意見を提出すべき客観的かつ、合理的な理由を有する方」という縛りはまったく不要なものであり、入力を強制する合理性はない。区が言う「なりすまし」についても、そもそもパブコメは一人が何度も意見を提出してよいとする性質のものであるし、前述のように意見の量だけでなく質が問われる</p>	<p>江戸川区で実施する意見募集（パブリック・コメント）では、「区政に関するご意見」を提出いただくものと考えております。そのため、意見を提出できる方については、江戸川区の在住、在勤、在学の方、それ以外の場合は意見を提出すべき客観的かつ、合理的な理由を有する方としており、提出の際には、上記を確認するために個人情報の記載をお願いしております。</p>

	ことから、同様の意見が同じ人から多数届いたとしても集計・分析が正しく行われれば何ら問題はない。個人情報入力必須により意見提出を抑制することは、結果的にパブコメ全体の量的・質的低下へとつながるため、今後は入力を任意にすべきである。また以前のパブコメで区民からの「個人情報を要求する必要性や合理性はないのではないか」という主旨の意見に対して、「個人情報の取り扱いについては、個人情報の保護に関する法律に基づき運用しています。」などと回答しているが、区は明らかに、意図的に論点をずらしている。求めているのは個人情報の取り扱いの安全な運用ではなく（もちろんそれも重要だが）、そもそもコメントを求めるにあたり個人情報を要求する道理などないはずで、その事に対する説明を求めているのである。	
7	このような不誠実かつ区民をバカにした解答は論外であるし、今後は区民が区のこのような態度について正当に指摘できるよう「区の考え方」とする区の解答に対してさらに区民がコメントできるような仕組みを作る必要がある。加えて現在の結果公表の方法および「区の考え方」を付した資料の公開がかなりクローズドで消極的だと感じられるため、もっとオープンにすべきであるし、区はパブコメの結果をもっと区民に伝える努力をすべき。住所や連絡先の入力を必須にしているのであれば、少なくとも意見を提出した人に対しては結果が公表されたことを連絡すべきでは？徹頭徹尾、議論を避けているとしか思えない。	ご意見として承ります。
8	以前から指摘している「意見募集（パブリック・コメント）手続の詳細」という資料の内容について。手続きの流れや目的	「意見募集（パブリック・コメント）手続の詳細」という資料についていただいたご意見について、以下回答します。

	<p>に記載されている内容からは、意見募集と言ひながら、実質的には区の一方的な政策の押し付けにしかなっていない実態がうかがえる。p2 の手續の流れでは最終的に「区の考えを公表します」となっているが、パブコメの目的は区の考えを区民に聞かせることではない。先に目的を確認すると、p3 で手續の目的を 2 点挙げている。結論から言うと、ここに書かれているパブコメの目的が 2 点とも誤った認識であり、続く「意見募集手續を実施することによって」期待されることの区の認識も誤りである。目的の 1 点目「案を公表することにより、事前にその影響を計ること」とはつまり区が区民の反応を事前に確認し、その影響度合いを計りたいという意味でしかなく、完全に区の都合・区の視点である。2 点目「説明責任」という言葉を使っているが、説明する責任を果たすための場がパブコメだとする認識も、つまりは区が区民に説明するためという区の視点である。パブコメ本来の目的とは「案を公表し、案に対する区民の意見を幅広く募集することで、区民の意見を区政に反映させること」「政策形成過程から区民が参加することで、区と区民が一体となり政策を策定すること」のはずである。つまりは区民の意見を区政に反映させる、区民が区政に参加するという区民の視点に立ったものでなければならない。区はこの本質的かつ重要なポイントの認識が歪んでいるから、結果として「多様な意見を考慮することによって」という様な上から目線の書き方しかできないのである。正しくは「多様な意見を取り入れることによって」だ。考慮するのではなく、反映させるのである。それこそが区民の政治参加であり「開かれた区政」で</p> <p>・「p3 で手續の目的を 2 点挙げている」と記載いただいておりますが、こちらは意見募集手續が求められる背景としてご説明している内容ですので、目的ではありません。目的は同ページ下部の「多様な意見を考慮することによって、より多くの方の参加を進め、開かれた区政を実現する一助となること」です。この目的の趣旨については、ご意見の中で記載いただいた「パブコメ本来の目的」の趣旨と相違ないと認識しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また「多様な意見を考慮することによって」という表現についてもご意見をいただいておりますが、本区の意見募集手續は「行政手續法」に定められている意見公募手續を参考としており、同法第四十二条「提出意見の考慮」の項目の中では、「命令等制定機関は、(略) 意見提出期間内に当該命令等制定機関に対し提出された当該命令等の案についての意見（以下「提出意見」という。）を十分に考慮しなければならない。」とされています。また同法第四十三条の四には、当該命令等の公布と同時期に公示しなければならない事項として「提出意見を考慮した結果（意見公募手續を実施した命令等の案と定めた命令等との差異を含む。）及びその理由」とあります。本区においても、いただいたご意見を対象の計画等にすべて反映できるとは限りませんので、考慮した上で反映されたものと反映されなかったもの、およびその理由について、「いただいたご意見とそれに対する区の考え方」として公表することとしています。 ・また、あわせてご意見をいただきました意見募集手續の流れについてですが、意見募集手續は、対象の計画等を策定する前の最終的な案についてご意見をいた
--	---

<p>ある。区民の意見を聞くだけ聞いておいて、考慮すると言ひながら実態としては全て区が決定し、決定したことを一方的に説明するのでは「開かれた区政」とは正反対だが、残念ながらこれが現時点での区の認識のようである。そしてパブコメの目的の認識が歪んでいるから、当然パブコメの手続の流れも誤ったものとなっている。p2に戻ると、「区の考えを公表します」は最初にあるべきだ。次に、公表した考えをもとにこんな案を作りましたと「案を公表し、ご意見を募集します」があり、必要最小限の選別をしたり取りまとめをした「いただいたご意見を公表します」があるべきだ。区民どうしが他の人の意見を知ることで、こんな意見もあるのかと議論を深めることができるので、意見の公表と計画の策定までにはある程度の期間が必要となる。そして区民の反応や反響を確かめながら「いただいたご意見を“取り込んで”決定します」があり、いよいよ「策定した計画等とともに、いただいたご意見 “をどのように政策に反映させたかの説明”を公表します」と締めくくられる。これが本来あるべき一連のパブコメの手続きである。以上の指摘を半年以上前からしているが、経営企画部企画課がまったく改善しようとしている現状を深く憂いでいる。その間にもこうしてパブコメは実施され、引き続き区の歪んだ認識のままの手続きで進められている事は非常に問題である。区は早急に認識を改めたうえでこちらの資料を修正すべきである。ちなみに以前の回答（「区の考え方」）には「ご意見として承ります。」としか書かれていなかつたが、区民から認識が誤っていると明確に指摘されているのだから、反論するか、誤りを認めるか、</p>	<p>だく手續という位置づけです。対象の計画等の内容や性質に応じて、意見募集手続の前段階で、区民の皆さまの声を聴き、そのご意見を取り入れながら作成作業を進めるようにしておりますが、今後もさらにそのような取り組みに努めてまいります。</p> <p>なお、いただいたご意見を踏まえて、「意見募集（パブリック・コメント）手続の詳細」という資料のp2、p3については、より内容を明快にするという観点から、以下の通り修正いたします。※既に修正済み</p> <ul style="list-style-type: none"> • p2 下段矢印、中央枠内の文章は、「いただいたご意見を考慮して決定します」としていましたが、「いただいたご意見を十分に考慮し、必要に応じて計画等に反映した上で、計画等を決定します」に修正します。 • p2 下段矢印、右枠内の文章は、「(略) いただいたご意見とそれに対する区の考えを公表します」としていましたが、「(略) いただいたご意見とそれに対する区の考え（ご意見を反映した／しなかつた理由など）を公表します」に修正します。 • p3 は背景と目的が混同しやすい状態となっていましたので、背景と目的を区別して記載するよう修正します。
--	---

	そのどちらかしかないはずである。反論するなら「区の考え方」にて上記に示したこうあるべきとする姿よりも資料に書かれた内容の方がより区民目線で作成され区民に寄り添ったものであるという理由を説明しなければならないし、誤りを認めるのであれば早急に認識を改めたうえで資料も更新するということを「区の考え方」にて明言すべきである。	
9	「文化・スポーツ基本構想（案）」について。本構想は p4 「3 本構想の位置付け」にあるように「2100 年の江戸川区（共生社会ビジョン）」の流れをくむ「公共施設再編・整備計画」を基にしているが、先に実施された『「2100 年の江戸川区（共生社会ビジョン）」実現に向けた具体的な取り組み』のパブコメにおいては区民の意見は反対が 9 割を占めたと聞く。実際に「意見募集の結果」を見ても具体的な反対意見が圧倒的多数を占めている事が確認できる。選択肢を絞ったアンケートを実施するなど区の進め方は非常に強引で、結論ありきで計画を進めようとしていることは明らかであり、看過できない。「区の考え方」として示している区の言い分は主に次の論拠によっている。2100 年にかけて人口が減少する、それに伴い税収減が見込まれる、持続可能な行政サービスを実現するためには区民の負担増が必要である、というもの。これら 3 つの論点について、区の説明及び考え方が誤りである事を順に述べる。1 点目の人口減少に関しては、その根拠となる江戸川人口推計自体、現時点での出生率の経過が推計の前提条件からすでに逸脱しており、現状では使用に耐えないデータとなっている。具体的には推計当時の予想を上まわる速さで出生率の低下が進んでお	<p>昨年度実施した「2100 年の江戸川区（共生社会ビジョン）」実現に向けた具体的な取り組みの意見募集（パブリック・コメント）では、ご提出いただいたご意見について、賛成、反対は分類しておらず、割合も把握しておりません。</p> <p>1 点目の人口減少に関する人口推計については、令和元年度に実施した「施策策定のための人口等基礎分析」に基づいたものです。人口減少に伴う将来予測されている最大のリスクに備え、行政サービスの在り方を整理・再構築するとともに、新たね取り組みを実施してまいります。また、おっしゃる通り、ただ人口推計に沿った将来を受け入れるだけではなく、矛盾するかもしれません、同時に「人口減少を和らげる」取り組みや「経済成長を支える人材育成」の取り組みも進めていくものであります。事業ごとの限定的な捉え方ではなく、「持続可能な江戸川区にしていくために今からどう行動していくか」という広い視点で取り組みを進めています。</p> <p>2 点目の税収（歳入）減について、推計値は同調査に記載の前提条件、推計条件に基づくシミュレーション値です。人口減少や財政規模の縮小により、区の歳入と歳出のバランスが崩れ、行政サービスの提供ができなくなる恐れがあるため、今から計画的に行動していくことの必要性</p>

<p>り、呑気に 2100 年の話をしているような場合ではない。区民の生活はいま、現在進行形で苦しいものとなっており、それが推計との乖離にあらわれているのである。いま目の前の区民を救わずして、2100 年も何もない。現状で区民の負担を増やしてしまえばさらに出生率の低下および人口減少を加速させるだけであるのに、区は正反対の方向に舵を切っている。そもそも推計とはあくまでも参考値であり、確定情報ではない。つまり何も手立てを講じなければ将来的にこうなるであろうという予測が推計なのであって、それを参考にしたうえでより良い予測となるためにはどのような政策をとればよいかを議論するための一つの指標に過ぎないのである。しかし区はあたかも推計が確定事項であるかのように扱い、推計がこう示しているのだから逆算してこうしなければならない、とまったく誤ったアプローチをとっている。そうではない。推計の通りに推移させないためにはどういう方向性の政策を実施していくのか、ということを区民とともに議論していかなければならない。そしていま取るべき政策は間違いなく区民の負担減である。2 点目の税収減についてはどうか。まず人口減=税収減というのは非常に短絡的である。区は「公共施設再編・整備計画」の根拠とするシミュレーションとして「江戸川区公共施設将来需要調査」を公表しているが、この資料に掲載された「経済動向」についての推計があまりにも酷い。そこでは、今後 2100 年までずっと経済成長も物価上昇も 0.1% の状態で続くというありえない、また決してあってはならない成長率を設定してシミュレーションをしている。つまり区は今後 76 年間もほと</p>	<p>を区民の皆さんに問いかけ、持続可能な江戸川区を実現するための取り組みを進めているところです。なお、折を見て適宜推計の見直しも図ってまいります。</p> <p>3 点目の持続可能な行政サービスという概念は行政の方針としてあってはならないものというご意見ですが、本区として「持続可能」という言葉は「利益・収益をあげること」を前提に使用しているのではなく、いずれ歳入が減少しても、財源を都や国に頼りすぎることなく持続していくようにしたいという想いから使用しています。いざ財政状況が悪化してしまってから行政サービスを大きく、そして急激に変化させるような事態に陥らないよう、サービスを利用されている方には、相応のご負担をいただきながら、大きなサービス減とならないよう、見直しを行ったり、他の事業とのバランスを踏まえた再構築などを行っています。また、前述しましたが、見直しや再構築とともに新たな取り組みも進めていくことで、区としては、持続可能で誰もが安心して自分らしく暮らせるまちを目指しています。</p>
---	--

	<p>んど経済成長しないという無根拠かつ現実とかけ離れた設定によるストーリーを勝手にでっち上げたうえで、税収減になる！と騒いでいるということ。まともな推計をすれば税収弹性により区の言うような税収減にはならないし、言うまでもなくそのようなシミュレーションを基に作成された「公共施設再編・整備計画」がまともであるはずはない。3点目、持続可能な行政サービスについて。行政サービスとはつまり福祉政策のこと。持続可能とはつまり利益・収益をあげようとしているということ。これが相容れないのは当然であり、区の言う「持続可能な行政サービス」という概念自体がそもそも目指す必要のない、むしろ行政の方針としてあってはならないものである。区は「持続可能」の説明において「自治体であっても企業や家庭と同じように、収入と支出のバランスを取らなければ、その先の行政運営が立ち行かなくなってしまいます。」などと度々述べており、斎藤区長も区議会で同じ内容の答弁をしているが、自治体=公と、企業・家庭=民を同列に語っている時点で誤りであり、区政の存在意義を自ら否定しているに等しいと言える。先に税収について述べたが、2023年度の資料によるとそもそも歳入における税収（区民税を含む特別区税）の割合は全体の16.9%である。ちなみに区が値上げを目論んでいる使用料及び手数料についてはたったの1.1%しかなく、つまり無料にしてもまったく影響がないということが分かる。歳入の大部分は交付金や国・都からの補助金であり、区の行政が「持続可能」かどうかは国や都が握っている。言い換えれば、持続させるために区民に負担を押し付ける意味も必要性もまったく無</p>
--	--

	<p>いという事である。不足があれば都や国に要求すればよいだけのこと。国に金はある。ここまで説明したように、今回の「文化・スポーツ基本構想」のもととなる「2100 年の江戸川区（共生社会ビジョン）」およびその実現に向けた具体的な取り組みについては区民の 9 割が反対しており、区の進め方・根拠・考え方のすべてが誤ったもの、もしくは恣意的なものであるため、区は潔く「2100 年の江戸川区（共生社会ビジョン）」を撤回すべきである。一言付け足すと、そもそも 2100 年という区切りにはまったく何の意味もない。そして同じく「公共施設再編・整備計画」についてもまともなものではない事は前述のとおり。「文化・スポーツ基本構想（案）」p4 にあるように本構想はそれら撤回すべき「2100 年に向けたアクションプラン」とでたらめな「公共施設再編・整備計画」との整合性を図るべくして作成されているのであるから、白紙撤回されるべきものであると考える。以上のことから、本構想それ自体に反対するものである。</p>	
10	<p>ただし今回の資料「文化・スポーツ基本構想（案）」の記載内容があまりにも酷いため、詳細についても触れる。p5 大々的に「スポーツだって、文化活動だって、自分のやりたいことには、だれでも、なんでもチャレンジできる。」とあるが、生活が豊かで余裕のあるものになれば、言われなくとも区民はそれぞれ自由に勝手に「自分のやりたいことには、だれでも、なんでもチャレンジ」する。そのためには、「中サービス・中負担」などと称して区民の福祉を削るな！</p>	<p>区民の皆さまの意見を聞きながら、区が目指す「ともに生きるまち」（共生社会）実現に向け、取り組んでまいります。</p>
11	<p>p6「生き生きとした暮らし」などと言っているが、その前にまずすべての区民が</p>	<p>「2100 年に向けたアクションプラン」の中には、時代にあわせた行政サービス</p>

	<p>普通の当たり前の暮らしができていると思っているのか？ひとり親家庭や高齢者世帯の貧困問題は江戸川区も例外ではない。議論を深めるために、先に実施された『「2100 年の江戸川区（共生社会ビジョン）」実現に向けた具体的な取り組み』のパブコメ（以下「2100 年パブコメ」と記す）に対する「区の考え方」を引用しつつ進めるが、区は住宅環境に関する要望に「高齢者の住まいの確保は課題であると認識しております。」と返答している。住まいは人権にかかわる問題であり、認識しているのであれば早急に対策を実施すべき。本構想にあるようなハコモノを建てる土地と金があるのであれば、高齢者のみならず低所得者世帯が安心して入居できる低価格な区営住宅を建設して提供する施策の方が圧倒的に優先度が高いはずである。</p>	<p>の見直しも含まれていますが、それ以外にも共生社会の実現やにぎわいのあるまちづくりなどのための新規・拡充施策の方向性も数多く含まれています。人々が生きがいを感じ、心の健康を支えるために誰もが身近に文化・スポーツに触れられる場をつくることで、将来的に地域のつながりの強化につなげてまいります。</p>
12	<p>p7 本構想はひとことで言えばハコモノを建てまくりたいという区の願望をさらけ出したものであるが、「スポーツ活動をしなかった理由」のアンケート項目はなく、施設の不足が理由でスポーツ実施率が低いのかは分からぬ(そもそも 43.0% というスポーツ実施率が高いのか低いのか、適正な基準値の提示も他区との比較もないで不明)。よってハコモノを建てたところでスポーツ実施率が上がるとは限らない。</p>	<p>ハード・ソフト両面での取り組みを進め、誰もが身近に文化スポーツに触れることができるまちを目指してまいります。</p>
13	<p>p10 「令和 4 年度に文化施設・スポーツ施設需要調査を行い、施設の状況等についてまとめました。」とあるが、その調査結果の資料名の記載が無い。HP に公表のうえリンクも記載すべき。全体的に語尾が「考えられる」「必要である」などとなっているが、需要調査の調査方法や調査結果の詳細が示されていないため根拠不</p>	<p>江戸川区公共施設再編・整備計画の中で実施した「江戸川区文化施設需要調査」「江戸川区スポーツ施設需要調査」が該当しております。</p>

	明。図書館は複合施設との親和性は高いと考えられるとしているが、図書館は区の求める「にぎわい」などとは正反対の性質をもつ施設であって、むしろ親和性は低いと考える。	
14	p13「2100年パブコメ」で「芸術鑑賞の機会の創出というのであれば、スポーツ施設ばかり建設を予定せず、区は美術館の一つでも建設すればよいのでは？」という意見に対し、区は「区では新たに美術館を建てるのでなく、まち全体を美術館と捉え、人を感動させるものと考えており、デジタル美術館はそれを補完するものとしてまちの魅力を伝えております。」と返答している。その考えに照らせば、江戸川区は都内有数の公園面積を誇っており、新たにハコモノを建設する必要はなく、まち全体に点在する公園・広場を運動施設と捉えればすでにハードとしては充足していると考えられる。区民にとって「身近な活動場所」といえば明らかに近所の公園である。活動場所を提供したいというのであれば、まずPark-PFIによって区民のための公共の活動場所を奪うこと止めよ。西葛西の恐竜公園は教育とは何ら関係のない飲食店を複数呼び込むために、東側のスペースでは子供たちがほとんど遊べなくなってしまった。区民の活動場所を即刻返して頂きたい。またスポーツコンシェルジュなるものも、デジタル美術館にならいデジタルを活用すれば設置や人員配置の必要はないだろう。	様々な手法を活用しながら、まちの魅力を高める取り組みを今後も推進していきます。その一つの手法がデジタルであると考えておりますので、有効に活用しながら取り組みを行ってまいります。
15	p14「文化・スポーツを“みる”」ことは現状でも十分に可能である。例えば最寄りのスタジアムやコンサートホールまで数時間かかるような地方都市とはまったく事情が異なり、江戸川区から1時	施設の整備については、他の自治体の取り組み事例を参考にしながら、様々な角度から検討を重ね、区民の皆さんにも説明してまいります。

	<p>間以内に移動できる文化・スポーツ施設はすでに多数存在する。「2100 年パブコメ」で「プロ興行も可能な 15,000 席を有するスポーツ施設を整備しなければいけない理由についての説明が不十分ではないか。区民生活の安全・安心に係る事業を圧縮してまで、事業を推進する理由が不明確ではないか。」という意見に「座席数については、プロの興行試合なども誘致することを踏まえたうえで設定しました。スポーツ施設は、区民の皆さまの生きがいや交流の場としての機能の他、プロスポーツの興行試合を行うことによる、新たな財源の確保を期待しております。」と回答しているが、この財源確保というのが区の本音であろう。加えて、特定の建設会社を設けさせ、見返りに天下り先を確保することを期待しているのであろうと思われる。プロスポーツ誘致は各地で失敗例も多く、住民の反対運動も起こっている。期待する財源としての価値についても、むしろチームや施設への公的支援により財政難・財政破綻を引き起こした例もあるためハイリスク。区は福祉サービスすらこのままでは「持続可能」ではない、としているのに、プロスポーツ誘致への投資が「持続可能」であることをどのように保証するのか？そもそも単発のライブ・試合などのイベントは、持続的な地域振興にはつながらないし、イベント当日の交通渋滞や騒音問題など環境が悪化するデメリットは無視できない。</p>	
16	<p>p17 以降、結論ありきの区の考え方を列挙しているだけの頁となっているが、パブコメは区の考え方を発表して押し付けるための場ではない。学校の活用・解放については、以前より防犯の観点から反対している。「2100 年パブコメ」での区の解</p>	<p>学校施設の活用については、ハード・ソフトの両面から安全管理の実効性や他の自治体の取り組み事例も参考にしながら、児童生徒の安全安心を損なわない形で区民の文化・スポーツ活動に活用していきます。</p>

	<p>答は次のとおり。「防犯面については、児童・生徒が利用する時間と地域開放の時間および移動動線を分け、混在しない形を検討しています。また、切り替えの際は施設内の安全確認を行うなど、防犯対策を徹底してまいります。」児童・生徒と利用者が顔を合わせなければよいとか、そういうレベルの問題ではない。部外者が学校に入れることで、公的な物品や私物の盗難の恐れ、個人情報の窃取の恐れ、小型カメラを仕掛ける等の盗撮の恐れ、など様々な問題が考えられる。施設内の安全確認と軽々しく言っているが、もとより部外者の入場を想定していない学校施設において、導線を100%切り分ける等の防犯対策など不可能ではないのか？区は「機械警備の導入や扉等で学校と切り分けるなどハード面でも対応」とも回答しているが、警備ロボットで学校内をすべてカバーできるはずもない。先行事例はあるのか？費用は？また「扉等」とは具体的に何か？適当な事を言っているようになしか思えない。場所の整備で「民間企業との協働」とあるが、民間企業は利益がある場合にしか参画しない。協働により民間企業に利益が出るとは、すなわち区から資産が流出するという事であり、区民にとっては損失である。以前よりすべてのPFI事業に反対している。「持続可能な施設の整備」として区民の福祉に資する既存公共施設の削減を示しているが、建築資材や人件費が高騰を続ける現状において、莫大な費用をかけてこれから建設しようとしている各種ハコモノが「持続可能」である理由をまったく示していない。</p>	
17	p20～22で「必要な機能」としてハコモノとその規模を列挙しているが、必要であるとする根拠の説明もなければ規模の	本資料は江戸川区公共施設再編・整備計画の中で実施した「江戸川区文化施設需要調査」「江戸川区スポーツ施設需要調

	<p>妥当性を示すための数値もない。繰り返すが、区のやりたいことを一方的に列挙しているだけで、区民の視点や区民の立場から考えられたものではまったくない。この資料は文化共育部文化課文化振興係の作成ということで、少なくとも係長、普通に考えれば課長のレビューまでは通っているはずで、もし区民に根拠の説明は不要と思っているのであれば傲慢であり、このような酷い資料をパブコメに提示すること自体、区民をバカにしているとしか言いようがない。加えて、区は組織ぐるみで数年にわたり意図的に入札逃れを行っていたという問題も抱えており、不正契約は当初に発表されたものだけで 1123 件にものぼるという。この問題の調査および再発防止を検討する第三者委員会「江戸川区不適切契約事案の検証及び再発防止対策検討委員会」はまだ調査・検討を継続中であり、当然ながら詳細な調査結果および再発防止策もまだ発表されていない。この状態で、以前からの構想であるとはいえ何事もなかったかのように予定通りハコモノの建設計画を進めようとするなど、斎藤区政はどれだけ厚顔無恥なのかと心底驚愕している。費用が暴騰している新庁舎建設とあわせて即時計画を停止し、後にすべての計画を中止、および白紙撤回することを強く求める。</p>	<p>査」に基づき、人口推計や利用実態などのデータを踏まえて整理したものです。区民の皆さまへの報告については、今後も工夫しながら、丁寧に行ってまいります。</p>
18	<p>文化・スポーツ基本構想（案）を拝見しました。2100 年の長期構想にも合った素晴らしいものと感じました。そこで、この基本構想に沿った形で、あまりお金を掛けずに江戸川区独自の新しい形を提供する方法があるのではないかと思いましたので、意見させて頂きます。</p> <p>「6 文化・スポーツに関する状況①」</p>	<p>ご意見ありがとうございます。区民へさらなる文化芸術活動・スポーツ活動の機会創出に向け、取り組んでまいります。</p>

から「文化芸術活動・鑑賞率」の【活動・鑑賞しなかった理由】で「一緒に活動する仲間がみつからない(17.5%)」と「スポーツ実施率(障害者)」の【スポーツに対する意識】で「行いたいと思うが、できない(43.8%)」に注目し、施設の一部に公園のような場所を作れないかと考えました。

例えば、葛西駅の環七の陸橋にあるダンス用の姿見のようなものが施設の外壁にあつたら面白いと思いました。鏡が無くとも、スマホと接続してスピーカーから音が流せる広場などあれば、ダンスの利用者だけでなく、子供会のラジオ体操などでも大いに役立ちます（最近はイヤホンで聴く家庭が多く、外で聞こえるスピーカーを持っている家庭も少ないですし、その方が不意に来れなくなると朝からてんやわんやです）。そして、これは「6 文化・スポーツに関する状況④ <施設>」でスポーツ施設を「改修や改築などの際には、 “みる” スポーツにも対応した施設としていくことも考えられる」にも合致していると思います。

江戸川区は文化スポーツ施設に恵まれていると思いますが、利用者とその施設周辺にたまたまいる人は壁やフェンスで仕切られています。施設利用料の観点から当然ではあるのですが、先ほど提案させて頂いた施設は公園のように（もちろん占有の場合は他の公園と同じように利用料が必要と考えます）、誰でも好きな時に出入りできる施設であってよいと考えます。このような施設を併設することで、「7 課題」にあります「新たな扱い手不足」の裾野の拡大につながる取り組みの推進につながると思いますし、「“する”ための施設不足」のだれであっても利用

	しやすい施設の整備にもなると考えます。	
19	<p>船堀に図書館が出来ること、嬉しくありがとうございます。</p> <p>①しかし、この頃の新しい図書館が貸し出しなしの所があります。決してその様なことがありません様にお願いいたします。</p> <p>②子ども中心を第一に、読み聞かせの出来る部屋を、乳児室をお願いいたします。</p> <p>③学習できるスペースをお願いいたします。</p> <p>できれば「図書館をつくる会」の会長さんをメンバーの中に入れて欲しいです。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>「江戸川区立図書館基本構想計画」に基づき、区民の皆さまの多様なニーズを踏まえ、今後の施設設計において検討してまいります。</p>
20	<p>1, 策定の主旨一文化・スポーツ環境が充実し、自分の可能性を広げる場が保障されることが大事だと考える。また、文化スポーツを楽しむ視点から、コミュニケーションをとるのが苦手な人も参加できるような居場所のあり方の検討をすすめてほしい。</p> <p>2, 文化スポーツの範囲一読書を加えることに賛成だが、文化には、地域の資料や歴史を研究するとか、学問を深めるとか、研究活動のような分野があると考える。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>学問の深化や研究活動といった利用も重要であると考え、多様な学びや研究の場としての機能も検討してまいります。</p>
21	<p>3, 位置づけ一2100年アクションプランには疑問がある。人口減少、税収減、持続可能な行政サービス、中サービス中負担というアンケート結果が8割。このプランには納得できないとパブコメに書いた。2100年を見通したプランはできないと考える。</p> <p>環境省ホームページで2100年東京の天気予報が43.3度とある。その可能性は現状から類推できる。しかし、人口減少、税収減は全国的な課題であり、江戸川区だけが生き残りのために今からサービス</p>	<p>「2100年に向けたアクションプラン」の中には、時代にあわせた行政サービスの見直しも含まれていますが、それ以外にも共生社会の実現やにぎわいのあるまちづくりなどのための新規・拡充施策の方向性も数多く含まれています。この基本構想は、それらの中でも特に「生きがい」につながる文化・スポーツの支援を具体化するものとして、「ともに生きるまちを目指す条例」からつながる一連の構想・計画等の中に位置づけられています。</p>

	を削減するというのは適切なプランとは言えない。そのサービス削減とこの基本構想がどうリンクするかわからない。	
22	4, 将来像一このようなことを言いきつていいのか疑問。経済的にも時間的にも生活の余裕がなければチャレンジする時間もゆとりもできない。 5, 基本理念一環境づくりを進める視点はよい。ただ、健康にすごせないと気軽に文化スポーツを楽しめない。	区民の皆さまの意見を聞きながら、「ともに生きるまち」(共生社会)実現に向け、取り組んでまいります。
23	6, 文化スポーツに関する状況①区民一状況がよくわかった。②団体一後継者不足の対応は重要③催し・大会等一担い手や会場不足があげられているが、会場としては公園などの活用ができるのではないか。④施設一文化施設としてはホールの検討がメインだが、文化施設として博物館やプラネタリウムなどを含む体験型施設等も検討したい。見るスポーツの対応が強調されているが、建設にも維持にも費用が掛かりすぎるため、施設はしぶりこむ。アイススケートリンクの通年化も赤字になるのではないか。	スポーツの活動場所やご提案の文化施設についても、区民のニーズを汲み取りながら検討を図ってまいります。また施設にかかる経費についても、しっかりと検証しながら進めてまいります。
24	7, 課題一少年野球やスポーツクラブチームのこと、民間のスポーツ施設との連携に触れていないが、個人的なこととして触れないのか?	ご認識のとおり、本構想では区の方針を定めたものであり、個々のチームの活動等には触れておりません。
25	8 (1)「ささえる」という内容が不正確。「ささえる」という側面があるのか疑問。説明が足りない。②「する」人を増やすための身近な場所の提供をすすめたい。③「みる」環境整備への費用投資は限定期に。人口減を予想しているのに「みる」環境整備というのは他区からの人を呼び込むことを意味する。見通しをまちがえると無駄遣いとなる。③「ささえる」全般的な文化スポーツ団体への継続的な支援は賛成。人材育成は難しい。まして、	「する」人を増やすための施設整備や、「みる」を目的とした観覧施設の提供、また文化・スポーツ団体への支援を総合的に行うことで、区民の皆さまの文化・スポーツ活動を支えてまいります。

	<p>部活動の専門の指導者の確保はより大変であり費用がかかる。</p> <p>(2) 文化とスポーツの融合－イメージがもてない。わかりづらい。</p>	
26	<p>9、施設整備の考え方－学校の体育館や校庭は従来通りの活用でよいが、教室や音楽室の活用は特別の事情がある場合以外は使わない。中規模の施設を新たに作る必要はない。今ある施設の拡充でよい。「みる」場所の整備を行政が行い、運営は民間企業というのは、民間に利益を提供することになるのでやめる。施設の長寿命化は賛成。文化スポーツで儲けるというしくみにしないこと。行政が「民間投資」の「模索」をすることはなじまない。やめること。北部、中部、南部と3つの地域分けは、広い江戸川区に適切とは言えない。</p> <p>3つの地域分けて、共生型スポーツ複合施設は現在の総合体育館のようだが、中部に移設する想定なら利用者・区民意見をきちんときくこと。南部に屋内アリーナ座席数3000～5000とあるが、西葛西スポーツセンター建て替えの時を想定していると考えられる。また、座席数15000球技場、陸上競技場など、利用者区民の声をきちんとアンケートなどで集約すること。学校等を活用した文化スポーツ拠点は明確に書いていないが温水プールのことであろうが、これも教職員・保護者・子どもの意見をきちんと聞くこと。強引にすすめれば行政の信頼を失う。</p> <p>以上、意見を述べたが、人口減少、税収減といいながら、新たな大型施設を造る計画がしめされている。大型施設より今のコミ館の良さを継続させたい。学校の活用は子どもの最善の利益が基本であり、地域開放は最小限にするべき。また、</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>いただいたご意見を参考に、誰もが身近に文化スポーツに親しめる環境づくりを行ってまいります。</p>

	民間に利益を提供する姿勢を改めたい。住民の福祉向上が自治体の存在意義であり、その立場に立ちきることを求める。	
27	<p>文化・スポーツ基本構想（案）を読ませていただきました。とても良い案だと思います、区民として大歓迎です。</p> <p>私たちが思い描いている案を少しだけ。</p> <p>1、 区民が気軽に行ける場所（徒歩、自転車で行ける）に文化センター、スポーツセンターを区内に、いくつか設定してほしい。</p> <p>2、 スポーツ、文化センターには、体育館、武道館、弓道、ダンス場、スポーツマシンが設置している、健康チェックが出来等の完備</p> <p>3、 文化センターについては、音楽室（貸出できる）、小規模ホール、展示室、多目的室、そして図書館を併設、図書館には幼児の遊戯場、ビデオを鑑賞出来る、飲食が出来るスペース（スポーツセンター）にもあるといいですね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りが、近くのスポーツセンターに気軽に行けると、認知症、ロコモティブシンドロームも予防できます。 ・図書館の併設があると、スポーツについて、文化について、調べたり、ゆったりと過ごせます ・こんなスペースが区内にできると、にぎわいが生まれ、交流もできます、是非こんな施設をお願いします。 	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>区民の皆さまが気軽に文化スポーツに親しめる場所の整備を進め、ご提案いただいたような内容や複合施設の可能性についても様々な角度から検討してまいります。</p>
28	<p>2100年に向かって、誰もが安心して自分らしく暮らせるまちを目指すというのは、日々の生活の中で誰もが願うことで、大切なことだと思います。文化とスポーツが身近にあることも理想的な環境だと思います。</p> <p>今回の構想の中では、江戸川区を3つ</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>いただいたご意見を参考に、区のさらなる魅力向上やにぎわいの創出に向け、検討してまいります。</p>

	<p>の地域に分けて、それぞれ地域の特性を生かした施設整備を予定されているということですが、南北に長く、交通の便もあまり良くないことを考えると、各人が自分のやりたいことを身近に実現できるのか？疑問です。たまたま自分の住んでいる地域でスポーツに力を入れていても、スポーツよりも本をたくさん読みたい人には満足度は低いと思います。</p> <p>経費の面からすれば、あまり分散しない方が良いのかもしれません、飽くまでも、3地域それぞれで誰もが楽しめる街づくりであってほしいと思います。夫々地域によって多少特徴があっても良いとは思いますが、あまりにもそれが強調されるのなら、満足度の低いまちづくりになってしまうのではないかと思います。</p>	
29	<p>◆北部・中部・南部の「必要な機能」の内容について、例えば、北部の区立図書館統括機能=区立中央図書館、南部の文学館=江戸川区角野栄子児童文学館など、現時点においても明示可能な施設については、施設名を併記してはどうか？</p> <p>◆令和4年度に文化施設・スポーツ施設需要調査を行った旨、記載されているが、調査結果が「江戸川区公共施設再編・整備計画」に収録されていることは広く認識されておらず、そのことを明記すべきでは？</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本構想では、それぞれ必要な機能として記載をしています。また調査結果の周知方法については工夫してまいります。</p>
30	<p>◆「施設整備にあたっては、民間投資も模索していきます」としているが、区立総合レクリエーション公園等の再整備ではPark-PFI方式を採用したこと、区民や利用者の意向は軽視され、民間事業者の「稼ぐ」施設化が優先された。結果として、一部のエリアでは公園本来の機能が大幅に後退した。こうした経過も踏まえ、民間活力の採用については、公共施設の</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>施設の整備については、様々な角度から検討し、区民の皆さんには丁寧に説明してまいります。</p>

	<p>本来の機能や役割が大きく損なわれるこ とがないよう慎重に対応すべきでは？</p> <p>◆「みるスポーツ」の球技場やアリーナ は、安定的な集客や区民への財政的な負 担が大きくならないよう周到な検討が必 要と考える。安易な需要予測などで進め paramString="true" style="vertical-align: top; width: 100%;">ことがないよう区の考え方を、検討段 階から開示すべきと考える。</p>
--	---